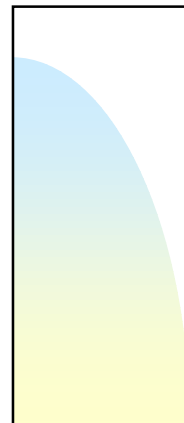


排泄の自力に向けて

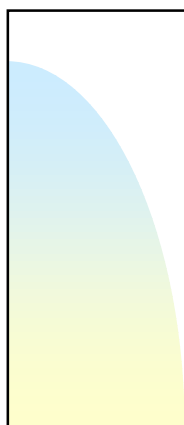
～トイレで排泄する喜びを
感じていただきたい～

社会福祉法人 梓友会
太陽の里



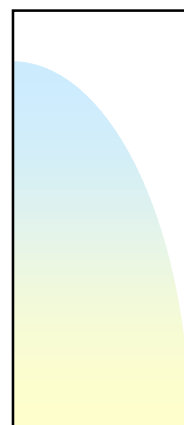
施設概要

- 特別養護老人ホーム 30床
- 短期入所 5床
- デイサービスセンター 25名
- 配食サービス(委)
- 生きがいデイサービス(委)



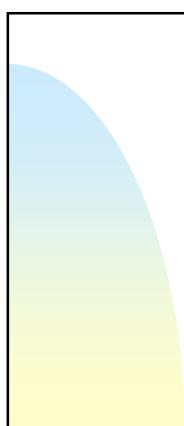
取り組んだ課題

- 腸内環境を整えることで便の性状や安定を図る
- オムツからリハビリパンツへ変更しトイレでの自力排便へと移行する



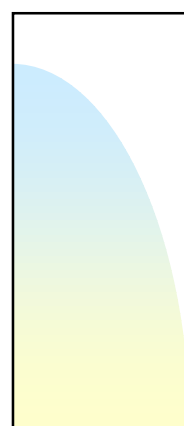
研究期間及び対象者

- 22年10月21日～23年4月20日
- 入居者30名(男性5名 女性25名)



腸内環境を改善するには

- ファイバーゼリー提供
- 食物繊維を多く含んだ食事
- 乳果オリゴ糖



実施

- 10月20日 施設内研修
- 10月21日オリゴ糖投与(一人7g～)
- 10月27日 下剤中止(30名)
- ヤクルト・ヨーグルトの提供開始(1週間に2回)
- 排泄アセスメントの実施
- 離床時間の見直し

排泄アセスメント内容

- 1、尿・便意について
- 2、排便時間について
- 3、便秘薬について
- 4、排泄形態について
- 5、使用物品について
- 6、麻痺等の有無について
- 7、関節の動く範囲の制限の有無について
- 8、座位保持について
- 9、立位保持について(複数回答)
- 10、本人の希望について

ピックアップ内容

項目	回数
排便時間がほぼ決まっている	10
尿意・便意がある	12
自力座位の保持が可能	15

排泄時間

項目	割合
トイレ	43%
オムツ	57%

離床時間

項目	割合
食事時	13%
日中	87%

排泄時間 (後)

項目	割合
トイレ	23%
オムツ	77%

離床時間 (後)

項目	割合
食事時	20%
日中	80%

オリゴ糖投与結果

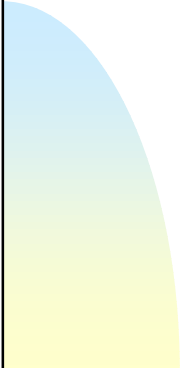
- オリゴ糖投与開始から6ヶ月間で下剤による苦痛の軽減に成功
- トイレ誘導により自然な排泄が行える
- 介護負担を軽減できた

結果

- 課題1
 - 7日目頃から徐々に有形の便が排泄されるようになった。
 - 食物繊維+ビフィズス菌+乳果オリゴ糖の効果で排便困難者が軽減した。
 - 定期的に排便がみられるようになった
- 課題2
 - トイレに「座る」ということに慣れてもらうことができた
 - 尿意や便意を感じられる人も増えてきた

評価

- オムツを外し、自分の力で排泄できるようになった
- 便秘対策にオリゴ糖は効果があった
- 排便時に踏ん張れず便が出せなかった
- 臨時下剤(座薬)使用者が増えた
- オリゴ糖の量、筋力向上の検討
- 職員からは良い評価が得られた



おわりに

- 排泄は基本的欲求の一つである。
- 入居者個々の生活リズムに合わせた排泄を考えていくことが質の高い介護援助に繋がる。